製造・	徳山	」工業高等	専門学校	開講年度 平成31年度 (2019年度)	授業科目	データ^	ベース		
接続	科目基礎	楚情報 一								
###	科目番号		0125		科目区分	専門 /	 必修			
###	授業形態		講義		単位の種別と単位	対 学修単	位: 2			
##担係の					対象学年	4				
当教					週時間数					
当教	教科書/教	 (材	増永良文		· ンス社)					
# 15 の	担当教員									
# 15 の	到達日梅	=	'							
理想的な別能レベルの目安 表達ルベルの目安 表達ルベルの目安 大郎 リーショナル 代数を辞しく説明できる。 本版書を表現明できる 表述レベルの目安 表述レベルの目安 表述レベルの目安 表述レベルの目安 表述レベルの目安 表述レベルの目安 表述レベルの目安 表述レベルの目安 表述レベルの目安 表述レベルの目文 表述レベルの目女 表述しが目前を目女 表述レグレスの対象の基本を設明できる。 表述日本の日本 表述日本の日本 表述日本の日本 表述日本の日本 表述日本の日本 表述日本の日本 表述日本の日本 表述日本の日本 表述日本	以下の正し	しい理解を発	到達目標とす タベース操作	する:①リレーショナルデータベースの f、④設計論の流れと正規化の基本、⑤)諸概念、②リレー?)データベース管理:	ショナルデータ システムにおけ	7モデルとリレ ける諸機能の基	ノーショナル代 基本。	数、	
# 2 - タハースの基礎	ルーブリ	ノック								
代数を禁止く説明できる。				理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レヘ	ジルの目安	未到達し	未到達レベルの目安		
	データベースの基礎									
	SQL				基本的な問合せを		基本的な問合せをSQLで記述できない。			
トランザクションの概念と四書回復	データベ-	ース設計		ス設計ができ、さらに正規化がで	実体関連モデルは	一 実体関連	実体関連モデルによるデータベー			
形式言語の	トランザ	クションと『	章害回復	トランザクションの概念と障害回	トランザクションの概念と障害回復について概ね説明できる。		回トランち	トランザクションの概念と障害回復の概略について説明できない		
学科の到達目標項目との関係 制設目信、1 放育方法等 情解技術の基盤の一つであるデータベース技術について、現在、主流となっているリレーショナルデータベースをない。 (下祭りつか、元文をつう。あるいは、当計するというで達からの必要となる基本・基準であるデータベースをかい、特に、 (下祭りつか、元文をつう。あるいは、当計するというで達からの必要となる基本・基準であるデータベースをでは (原語)4特間のア省(教育者の通路)および経営(確実に理解することはできないが、特に、 (原語)4特間のア省(教育者の通路)および経営(確実に理解するこかの資料を配布する。なお毎日の受講に際しては (原語)4特間のア省(教育者の通路)および経営(確実に理解するこかの資料を配布する。なお毎日の受講に際しては (原語)4特間のア省(教育者の通路)および経営(確実に理解するこかの資料を配布する。なお毎日の受講に際しては (原語)4特間のア省(教育者の通路)および経営(確実に理解するこかの資料を配布する。なお毎日の受講に際しては (原語)4特間) オータースの定義 (アータースの定義 (アータースの定義 (アータースの定義 (アータースの定義) (アータースの定義) (アータースの定義) (アータースの定義) (アータースの定義) (アータースの定義) (アータースの定義) (アータースの定義) (アータースシステムに (アータースンので) (アータースンので) (アータースンので) (アータースンので) (アータースンので) (アータースンので) (アータースンの中のアーター) (アータースの場所の解析で) (アータースのののアーター) (アータースの影響) (アータースのの影響) (アータースののの影響) (アータースののの影響) (アータースののの影響) (アータースののの影響) (アータースののの影響) (アータースののの影響) (アータースのののの影響) (アータースののののの影響) (アータースののののので) (アータースののののので) (アータースのの	 形式言語				形式言語の基本事		で 形式言語	形式言語の基本事項が説明できな		
### ABEE G-1 教育方法等	学も	小辛口福丁	百日上の即				U 10			
開要	到達目標	C 1	RHCVIX	出						
歴学中心であり、基本的に教科書に沿って進めるが、適宜、補足のための資料を配布する。なお毎回の受講に際しては 情能の子習 (教科書の通識) および復選 (御実に理解するための課題の解答) が必要である。	教育方法	去等								
歴学中心であり、基本的に教科書に沿って進めるが、適宜、補足のための資料を配布する。なお毎回の受講に際しては 情能の子習 (教科書の通識) および復選 (御実に理解するための課題の解答) が必要である。	概要		情報技術 に学習す 後にデー	所の基盤の一つであるデータベース技術 「る。データベースシステムの内容は多 -タベースを使う、あるいは、設計する	fについて、現在、st v岐・広範に渡るため oという立場からの必	È流となってい か、そのすべて 必要となる基本	るリレーショ を網羅するこ ・基礎事項を	ナルデータベ とはできない 中心に学んで	ースを中心 が、特に、 いく。	
登業計画	授業の進む	め方・方法	座学中心	であり、基本的に教科書に沿って進め	るが、適宜、補足の	のための資料を	配布する。な	お毎回の受講		
関業計画	注意点									
週 授業内容 週ごとの到達目標		 ≢ī	11.0/2		1100013					
1週			個	授業 内突	:	週ごとの到達E				
1stQ データモデル アータモデル アータモデル アータモデル アータモデル アータモデル アータモデル アーカー アータモデルにおける 「キー」他の様 プレーショナル代数 プレーショナル代数 プレーショナル代数 プレーショナル代数 プロ・ア・フェカール代数 プロ・ア・フェカールです。 アータベース言語 S Q L の基本概念および単純質問 データベース言語 S Q L の基本概念および単純質問 データベース言語 S Q L の基本概念および単純質問 データベース言語 S Q L の基本概念および単純質問 アータベース言語 S Q L の基本概念および単純質問 アータベース言語 S Q L について理解する。 S Q L (2)				データベースの定義	:	データベースとは何かおよびデータベースシステムに				
1stQ 一貫性制約			2週	データモデル		リレーショナルデータモデルの構造記述について理解				
1stQ 1stQ			3週	一貫性制約		リレーショナルデータモデルにおける「キー」他の概				
SQL(1)			4週							
5 Q L (2) [予習復習計4時間]課題の解答作成と次回の予習		1stQ	5週	SQL (1)	データベース言語SOLの基本概念および単純質問と					
7週 「子習復習計4時間]課題の解答作成と次回の予習 SQLによるデータ定義やデータ更新について学ぶ。 前期中間試験の解説およびデータベース設計 「一タベースの設計の基本および実体関連モデルにて	前期		6週	SOL (2)						
1				SQL (3)		SQLによるデータ定義やデータ更新について学ぶ。				
10週 前期中間試験の解説およびデータバース設計 データベースの設計の基本および実体関連モデルにでは				[丁音接音計4時间]味趣の解音作成と次回のす音 前期中間試験 1.27年						
10週				前期中間試験の解説およびデータベー	データベースの設計の基本および実体関連モデルにつ					
2ndQ 11週 正規化 (2)				正規化(1)	次同の子翌	更新時異状、情報務損失分解、関数従属性について理				
2ndQ 12週 トランザクション トランザクションの概念およびACID特性について 子習復習計4時間]課題の解答作成と次回の予習 トランザクションの概念およびACID特性について 理解する。 13週 障害回復 「予習復習計4時間]課題の解答作成と次回の予習 口グおよび障害回復方式の基本について理解する。 14週 形式言語 下式言語 下式言語 下式言語 下式言語 下式言語 下式言語 「予習復習計4時間]課題の解答作成 下式言語の概念および諸特性について理解する。 15週 期末試験 明末試験 9~14週についての理解をチェックする。 日の 日の 日の 日の 日の 日の 日の 日				正規化(2)						
13週 障害回復 口グおよび障害回復方式の基本について理解する。		2ndQ		トランザクション	トランザクションの概念およびACID特性について					
14週 形式言語 形式言語 形式言語 下式言語 下式言語 下式言語 下式言語 下式言語 下式言語 下式言語 下式言語 下式言語 下式言語 の概念および諸特性について理解する。 日				障害回復						
15週 期末試験 9~14週についての理解をチェックする。				形式言語						
16週 期末試験の解説とまとめ 本講義のまとめを行う。 Eデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標			15週	期末試験						
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標 分類				[[試験刈束4時间]						
分類 分野 学習内容 学習内容の到達目標 到達レベル 授業週	<u></u> エデリ.‐	コアカロー				, P1.17X1-7 C	13 /0			
	<u>モノル_</u> 分類	_, , <u>,,</u> ,,,,			 標			到達レベル	授業调	
^{専門的能力} 育工学 情報糸分野 口グラム ド式言語の概念について説明できる。 4 後14		, 分野別/								
	専門的能 。	7 門工学	~``」情報系	^{伶分野} ログラム~ 形式言語の概念に	ついて説明できる。			4	後14	

				オートマトンの概念	念について説明でき	:る。		4	後14		
				形式言語が制限の多さにしたがって分類されることを説明できる。				4	後12,後14		
		正規表現と有限オートマトンの関係を説明できる。				4	後14				
	データモデル、データベース設計法に関する基本的な概念を説明できる。					4	前3,前4,前 5,後1,後 2,後3,後 4,後5,後6				
			図内容 データベース言語を用いて基本的なデータ問合わせを記述できる。				4	前10,前 11,前12,後 12			
評価割合											
	試験	=	 果題	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	1	合計		
総合評価割合	80 2		20	0	0	0	0		100		
基礎的能力	0 0)	0	0	0	0	(0		
専門的能力	80 20		20	0	0	0	0		100		
分野横断的能力	0	C)	0	0	0	0	(0		